

化学の力が 新たな価値を創りだす

住友化学は、あくなき探求心と独創的な技術で新しい領域に挑み続けてきました。当社はその長年にわたる広範な研究活動を通じて、6つのコア技術を確立しています。これらのコア技術を活かし、高成長が期待できる「環境・エネルギー」「ICT」「ライフサイエンス」の3つの事業領域で、世界の社会課題やトレンドに対する新たなソリューションを生み出すべく研究開発に取り組んでいます。「創造的な研究開発こそが新たな時代を築いていく」という信念のもと、今後も技術力の強化に努めていきます。



高成長が期待できる事業領域と
社会課題・トレンド



次世代自動車向けソリューションの一例

リチウムイオン二次電池用セパレータ

薄膜で耐熱性の高い独自のアラミド塗工セパレータを提供することで、高容量で安全性の高いリチウムイオン二次電池の実現に寄与しています。

スーパーエンジニアリングプラスチック(SEP)

金属部品をSEP製の部品で代替することで自動車部品の軽量化に貢献します。また、射出成形技術を用いることで複雑な形状の部品を短時間で大量生産できることから、顧客のコスト削減にもつながっています。

オレフィン系熱可塑性エラストマー

加工成形性が高く、耐候性やリサイクル性にも優れる機能樹脂であることに加え、自動車の内装に高級感を演出することに役立っています。

農業関連ソリューションの一例

クロープストレスマネジメント

病原菌、害虫、雑草などの生物的ストレスを除くのではなく、低温・高温・乾燥などの環境ストレスへの耐性を高める薬剤や生物資材を投与することで、作物の収量向上を目指します。

バイオリショナル

天然物由来の微生物農薬や植物生長調整剤、根圏微生物資材などを用いて作物の品質や収量の向上および農業生産の安定化に貢献し、世界各国でのオーガニック食品、高品質な果樹・野菜などに対する需要の高まりに応えます。

国内農業のトータルサポート

農薬・肥料・資材などの製品から、関連技術、農産物の販売まで、グループ各社が持つさまざまな商材や機能を活かし、農業経営を総合的にサポートしています。

世界に広がる競争力ある事業

住友化学グループは、真のグローバルカンパニーを目指し、世界中に事業を拡大してきました。当社グループの現在の海外売上収益比率は6割を超えています。今後も当社グループの競争力ある事業を積極的に世界の市場へ展開し、持続的な成長を実現していきたいと考えています。



住友化学グループの海外拠点

シンガポール



ポリオレフィン製造工場

住友化学の石油化学事業は、日本・サウジアラビア・シンガポールの3拠点の特長を活かしたグローバルな事業展開が強みです。シンガポールのザ・ポリオレフィン・カンパニー（TPC）では、経験豊富なローカルスタッフの優れたプラント運転技術により、高品質な製品を安定的に製造・販売しています。

韓国

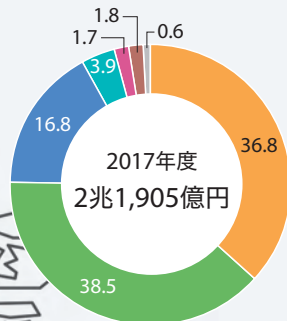


リチウムイオン二次電池用セパレータ工場

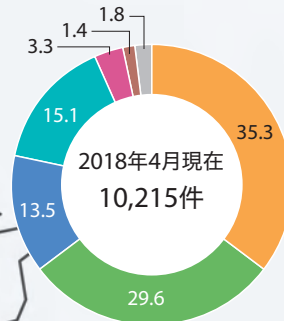
住友化学は、2006年より大江工場にて耐熱セパレータを生産してきました。その後、リチウムイオン二次電池の車載用途を中心とした旺盛な需要を受け、2016年に韓国の子会社SSLM社で稼働を開始し、生産能力を段階的に拡充しています。

地域別情報

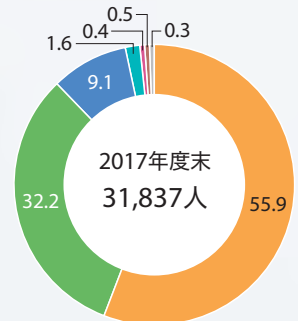
地域別売上収益 (%)



地域別保有特許件数 (単体) (%)



地域別従業員数 (%)



日本 アジア 北米 欧州 中東・アフリカ 中南米 オセアニア 他

海外拠点の詳細は、会社案内P21-22をご覧ください。

http://www.sumitomo-chem.co.jp/company/docs/brochure_J2017.pdf

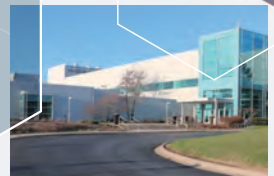
中国



半導体用プロセスケミカル工場

住友化学はかねてから、半導体用高純度ケミカルを日本・韓国・中国で生産してきました。そうした中、今後急速に拡大していくと見込まれる中国半導体市場を捉えるため、常州に新工場の建設を開始しました。さらに、西安の生産設備の増設も決定しています。中国市場へのタイムリーな進出により、さらなる販売拡大を目指します。

米国

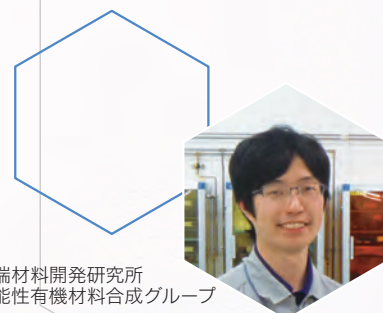


バイオラショナルリサーチセンター

バイオラショナルの最新の研究所の運営が2018年7月に開始されました。微生物、植物生理、化学、発酵、製剤技術など、バイオラショナル製品の研究開発活動において重要な役割を果たします。

その志が、未来を切り開く

住友化学グループでは、世界中で約3万人の従業員が活躍しています。従業員の一人ひとりが高いロイヤリティを持って日々の業務に邁進していることは、当社グループにとって大きな強みの一つとなっています。今後もすべての従業員が高い使命感と情熱を持って、切磋琢磨し、日々新しい可能性を追求しながら、課題を突破していきます。



先端材料開発研究所
機能性有機材料合成グループ
廣井 結希

私のチームでは有機ELディスプレイ向け発光材料の開発に取り組んでいます。私たちの一番の使命は、色が鮮明かつ寿命の長い発光材料を作ることにあります。開発は困難の連続ですが、私を含めチームの全員が「必ず成果を出す」という強い思いを持ち、一つひとつの難関を乗り越えています。

住友化学企業行動憲章

1. 住友の事業精神を尊重し、世の中から尊敬される「よき社会人」として行動する。
2. 国内外の法令を守り、会社の規則にしたがって行動する。
3. 社会の発展に幅広く貢献する、有用で安全性に配慮した技術や製品を開発、提供する。
4. 無事故、無災害、加えて、地球環境の保全を目指し、自主的、積極的な取組みを行う。
5. 公正かつ自由な競争に基づく取引を行う。
6. 健康で明るい職場づくりを心がける。
7. 一人ひとりが、それぞれの分野において、
高度な技術と知識をもったプロフェッショナルになるよう、研鑽していく。
8. 株主、取引先、地域社会の方々等、
企業をとりまくさまざまな関係者とのコミュニケーションを積極的に行う。
9. 国際社会の一員として、世界各地の文化・慣習を尊重し、その地域の発展に貢献する。
10. 以上の行動指針に基づく事業活動を通じ、会社の健全な発展に努める。





住友化学アジア
モノマー2
宋 庆文 (Song Heng Mun)

私は16年以上前に住友化学シンガポール(現・住友化学アジア)の企画・調整チームに加わり、これまで何度か実施したMMAやPMMAの生産能力増強の実現に貢献してきました。私の主な業務は、MMAの原料を安定的に確保することです。困難に直面することは多々ありますが、その壁を越えるたびに達成感を味わうことができます。これまで培った経験を活かし、今後も当社のMMA事業に貢献していきたいと考えています。



大分工場
生産企画部(経理)
重松 彩香

私は大分工場の経理担当として、工場運営の指標となる製品コストの試算や分析を行っています。これは大分工場の安全・安定操業と高いコスト競争力の維持に貢献します。また、スムーズな経営判断に繋がるよう、関係各所からのタイムリーな情報収集と、数字から読み取れる大分工場の課題を効果的に伝える資料の作成を常に心がけています。



愛媛工場 生産安全基盤センター
プロセスシステムグループ
仙田 早紀

私はCFD※を用いて物質の「流れ」が引き起こす問題の解明に取り組んでいます。この技術は、研究開発のスピードアップや生産設備のプロセス改良に繋がっています。また、愛媛工場排水の海洋への影響を正しく評価するため、瀬戸内海広域での環境評価に向けた独自解析技術の開発にも成功しました。これは、当社が社会的責任を果たし、持続的な社会を実現することに貢献するものと考えています。

※ Computational Fluid Dynamics



東京本社
生活環境事業部
事業企画部
クロー ハックレイ

私は生活環境事業部が上市した新規デバイス製品の製造・物流スキームの企画を担当しています。市場動向や営業担当者からの需要情報を踏まえ、より効率的な生産計画の立案を行うとともに、当社の物流網を駆使して合理的な製品出荷を実現することで、世界中の顧客へ当社製品をタイムリーにお届けすることに寄与しています。

